第12回 総合 港と米からみた日本

地理と歴史をまぜた総合問題（日本の港と貿易の歴史・現在の工業と貿易／米づくりと土地・税の歴史・現在の米の生産）

大問1	大問2	答え合わせ
22分	22分	6分

大問1 港と貿易からみた日本

入試の形

Uさんは、日本の港と貿易の歴史について調べ、カード[A]〜[E]と資料Ⅰ・Ⅱを用意した。

[A] 平安時代の末、平清盛は大輪田泊（今の神戸市）を整え、中国との貿易を進めた。今の神戸市をふくむ①大阪湾の沿岸には、工業地帯が広がっている。
[B] 室町時代から戦国時代にかけて、②堺は貿易で栄え、有力な商人たちによる自治が行われた。
[C] 江戸時代、長崎では③2つの国の船との貿易が行われ、そのうち一つの国の商館は出島に置かれた。
[D] 1859年に貿易が始まると、横浜は日本最大の貿易港になった（資料Ⅰ）。
[E] 現在、輸出入額が日本最大の貿易港は④成田国際空港である。また、⑤名古屋港は輸出額が多い（資料Ⅱ）。

資料Ⅰ　日本の輸出品の割合（1865年）

生糸 79	茶 11	10

単位：%。10はその他。（石井孝「幕末貿易史の研究」より作成）

資料Ⅱ　日本の輸出品の割合（2022年）

機械類 37	13	その他 50

単位：%。13は自動車。（財務省「貿易統計」などより作成）

(1) 下線部①に広がる、大阪府と兵庫県を中心とする工業地帯を何というか。

(2) 下線部②の市には、日本最大の前方後円墳がある。古墳のまわりなどに置かれた、人や馬・家などの形をした素焼きの焼き物を何というか。

(3) 下線部③の2つの国の名前を書きなさい。

(4) 下線部④から輸出される品物の特色として最も適しているものを、ア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア　半導体製造装置など、軽くて高価なもの。
イ　自動車など、大きなもの。
ウ　鉄鋼や石油製品など、重いもの。
エ　木材や石炭など、安くて量が多いもの。

答

(5) 下線部⑤がある愛知県を中心に広がり、製造品出荷額が日本一の工業地帯を何というか。

(6) 資料Ⅰ・Ⅱから分かる日本の輸出品の変化を、「せんい」「機械」の2語を用いて簡潔に書きなさい。

(7) 日本の貿易に関わる次の(i)〜(iii)を、始まった順にならべたものをア〜カから一つ選び、記号を書きなさい。
(i) 足利義満が、明との勘合貿易を始める。 (ii) 平戸や長崎で、ポルトガル人やスペイン人との南蛮貿易が始まる。 (iii) 徳川家康が朱印状を発行し、朱印船貿易が本格化する。

ア (i)→(ii)→(iii)　イ (i)→(iii)→(ii)　ウ (ii)→(i)→(iii)
エ (ii)→(iii)→(i)　オ (iii)→(i)→(ii)　カ (iii)→(ii)→(i)

答

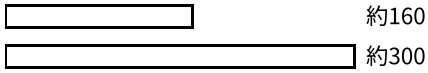
大問2　米づくりからみた日本

入試の形

Vさんは、日本の米づくりと土地・税のしくみについて調べ、次の年表と資料Ⅰ・Ⅱを用意した。

時代・年	おもなできごと	時代・年	おもなできごと
弥生時代	①稲作が広まる	江戸時代	④新田開発が進む（資料Ⅰ）
奈良時代	②口分田があたえられる	1873年	⑤地租改正が始まる
16世紀末	③太閤検地が行われる	現在	⑥米づくりのさかんな地域（資料Ⅱ）

資料Ⅰ　全国の田畑の面積



単位：万町歩（1町歩は約1 ha）（歴史の資料集などより作成）

資料Ⅱ　米（水稲）の収穫量の地域別割合（2022年）

東北 27	18	北陸 15	その他 40

単位：%。18は関東・東山（東山は山梨県・長野県）。（作物統計より作成）

(1) 下線部①のころ、収穫した稲（米）をたくわえるためにつくられた、床を高くした倉庫を何というか。**漢字4字**で書きなさい。

(2) 下線部②について、次の文中のⓐ〔　〕、ⓑ〔　〕から適しているものをそれぞれ一つずつ選び、記号を書きなさい。

「6歳以上の男女にあたえられた口分田は、その人が死ぬとⓐ〔ア 子に相続する　イ 国に返す〕ことになっていた。このしくみをⓑ〔ウ 班田収授法　エ 墾田永年私財法〕という。」

ⓐ　　ⓑ

(3) 下線部③の後の江戸時代の年貢と、下線部⑤による地租は、納め方がどのように変わったか。次の文の（　）に入れるのに適している内容を、「地価」「現金」の2語を用いて簡潔に書きなさい。

江戸時代の年貢は、おもに収穫高（石高）をもとにして米で納めていたが、地租改正の後は、（　　）ようになった。

---

(4) 資料Ⅰで、18世紀初めの田畑の面積は、17世紀初めの約何倍か。ア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア　約1.5倍　　イ　約2倍　　ウ　約3倍　　エ　約4倍

答

(5) 下線部④のころ、農具も改良された。稲の穂からもみを落とす作業（脱穀）に使われた農具を、ア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア　備中ぐわ　　イ　石包丁　　ウ　千歯こき　　エ　田げた

答

(6) 資料Ⅱの「東北」にふくまれる平野で、米づくりがさかんなものを、ア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア　筑紫平野　　イ　濃尾平野　　ウ　石狩平野　　エ　庄内平野

答

(7) 資料Ⅱの「北陸」にふくまれ、越後平野などで米づくりがさかんで、米の収穫量が全国一（2022年）の県を書きなさい。

県

解答（答えと短い解き方）

第12回　総合 港と米からみた日本

大問1　港と貿易からみた日本

(1)　阪神工業地帯

阪神工業地帯は、紡績などのせんい工業で発展し、のちに臨海部の鉄鋼・化学工業がさかんになった。

(2)　埴輪

堺市の大仙古墳は日本最大の前方後円墳。古墳の上やまわりには**埴輪**が並べられた。

(3)　オランダ・中国（清。明も正解）

鎖国の体制のもとで、長崎では**オランダ**（出島）と**中国**（唐人屋敷）の船が来航して貿易を行った。

(4)　ア

航空機は輸送費が高いが速いので、半導体製造装置など**軽くて高価なもの**の輸送に向いている。

(5)　中京工業地帯

中京工業地帯は、自動車工業を中心に機械工業の割合が非常に高く、製造品出荷額は日本一。

(6)　（解答例）幕末には生糸などのせんいに関係するものが輸出の中心だったが、現在は機械類や自動車などの機械が中心になった。

1865年は生糸（せんいの原料）が輸出の約8割、現在は機械類・自動車などの**機械**が中心。両方を書いて正解。

(7)　ア

(i) 勘合貿易は1404年 → (ii) 南蛮貿易は16世紀半ば → (iii) 朱印船貿易は17世紀初め。

大問2　米づくりからみた日本

(1)　高床倉庫

高床倉庫は、床を高くして湿気やねずみを防いだ。弥生時代には、稲の穂をつみ取る石包丁も使われた。

(2)　ⓐ イ　ⓑ ウ

班田収授法では、6歳以上の男女に口分田をあたえ、死ぬと**国に返させた**。

(3)　（解答例）土地の所有者が、地価の3%を現金で納める

地租改正では、土地の所有者が**地価**の3%を地租として**現金**で納めた。「地価」と「現金で納める」の両方で正解。

(4)　イ

300÷160＝1.87…で、**約2倍**。江戸時代の前半には、新田開発が進められた。

(5)　ウ

千歯こきは、鉄の歯に稲の穂を通して、もみを落とす農具。備中ぐわは田畑を深く耕す農具。

(6)　エ

庄内平野（山形県）は、最上川の下流に広がる東北地方有数の米どころ。

(7)　新潟（県）

新潟県は、信濃川の下流の越後平野などで米づくりがさかん。

くわしい解き方は創心館出版の攻略テキスト（別冊解答）に載っています。